

Kansai Geo-Symposium 2025

—地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—

開催のお知らせ

主催：(公社)地盤工学会関西支部，地下水地盤環境に関する研究協議会

協賛：(公社)土木学会関西支部，(公社)日本材料学会関西支部，

(公社)日本地すべり学会関西支部，(一社)日本建築学会近畿支部，

(公社)日本地下水学会，(一社)日本応用地質学会関西支部，

(公社)日本水環境学会関西支部，(公社)土木学会岩盤力学委員会，

現場計測コンサルタント協会

地盤工学会関西支部と地下水地盤環境に関する研究協議会では、昨年に引き続き、共催で「*Kansai Geo-Symposium 2025* —地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—」を開催する運びとなりました。本シンポジウムを関西における地盤研究発表会のプラットフォームとするため、日々埋もれがちな貴重な計測データや地盤環境に配慮した工事事例・技術開発など実務的な内容を含めて、今年も幅広い分野をテーマとしております。これらの業務に携わる多くの技術者、研究者の皆様の多数のご参加をいただきますよう、ご案内いたします。

【行事参加】

G-CPD ポイント：6.5（シンポジウムに終日参加の場合）

日 時：2025 年 11 月 5 日(水) シンポジウム：9:00～17:20

懇 親 会：17:30～18:30

会 場：関西大学 100 周年記念会館（大阪府吹田市 千里山キャンパス内）

大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号

交通：阪急電鉄千里線関大前駅より徒歩 5 分

参 加 費：正会員・特別会員・協賛団体の会員 5,000 円

正会員（学生） 2,000 円

非会員 7,000 円

懇親会費：正会員・特別会員・協賛団体の会員・非会員 2,200 円

正会員（学生） 1,100 円

※懇親会費は参加をご希望の方のみ

シンポジウムおよび懇親会参加申込み方法：

参加ご希望の方は、下記期日までに、地盤工学会関西支部 HP（https://www.jgskb.jp/list_form/）よりお申し込みください。申込受付後、参加証、請求書をお送りいたします。FAX やメールでも受付しております。

参加申込期日：2025 年 10 月 20 日（月）

- ・ 2025 年 10 月 20 日（月）以降の参加申込のキャンセルはお受けできません。
- ・ シンポジウム当日会場での現金によるお支払いは、お受けいたしません。
- ・ 論文集の印刷物（冊子製本版）の郵送や配布はございませんので、各自必要に応じて事前にダウンロードもしくは印刷していただき、当日ご持参ください。
- ・ 事前申込がない場合、参加はできません。

【プログラム】

	総合会場	A 会場	B 会場
9:00~9:15	開会挨拶		
9:20~10:40		セッション 1: 地下水浸透・地域性（地下水協議会セッション）	セッション 2: 防災・減災対策①（地盤工学会セッション）
10:50~12:00	基調講演 「月面基地建設への挑戦～地盤工学が切り拓く宇宙開発～」 小林泰三（立命館大学 理工学部 教授）		
12:00~13:00	昼食休憩		
13:00~14:20	技術展示・ポスター設営	セッション 3: 防災・減災対策②，解析・予測推定手法（地盤工学会セッション）	セッション 4: 地下水地盤環境・地下水利用（地下水協議会セッション）
14:30~15:45	技術交流セッション （技術紹介&展示，ポスター発表コアタイム，コーヒープレイク）		
15:45~17:20	技術展示・ポスター撤収 懇親会設営	セッション 5: 室内・現場試験，現場計測技術（地盤工学会セッション）	セッション 6: データ連携による（スマート）斜面防災 DX：豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会（特別セッション）
17:30~	懇親会		

9:20~10:40 セッション1：地下水浸透・地域性（A会場）

座長：北岡 貴文（関西大学）

- 1-1 ボーリングデータベースを用いた芥川，安威川下流域の表層地質の地形・地質発達史的検討
○水谷光太郎（一般財団法人 GRI 財団），伊藤浩子，北田奈緒子，肥後陽介
- 1-2 ボーリングデータベースの可視化とクラスター解析を組み合わせによる地域特性の検討
○井上直人（一般財団法人 GRI 財団）
- 1-3 機械学習を用いた地下ダムの貯水量予測モデルにおける気象・水質因子の影響評価
○井上峻（神戸大学大学院），鈴木麻里子，井上一哉
- 1-4 降雨波形および土壌特性と浸透率の関係に関する研究
○齋藤雅彦（神戸大学大学院）
- 1-5 扇状地水田に特有な土層構造における湛水の浸透特性
神谷浩二，LE MINH THANH，○岡崎友哉（岐阜大学），小島悠揮

9:20~10:40 セッション2：防災・減災対策①（B会場）

座長：上田 恭平（京都大学）

- 2-1 令和6年能登半島地震による高岡城石垣の変状分析
○原幸平（関西大学），小山倫史，田上和彦，佐伯貴之
- 2-2 能登半島地震時にみられた液状化被害について（福井県北部～石川県西部）
○北田奈緒子（一般財団法人 GRI 財団），水谷光太郎，塚本峻一，鷺見浩司
- 2-3 既設道路盛土における浸透水排除工による水位低下効果の解析的検討
○富永健介（大阪大学大学院），糸賀悠，中村大樹，濱本佳那子，緒方奨，乾徹
- 2-4 遠心模型実験による降雨時の斜面崩壊に関する実験的研究
○岡田広久（大阪公立大学大学院），中川太介，田村耕平
- 2-5 iRIC を用いた令和4年8月南越前町大雨の再現に関する研究
○寺前海斗（福井工業高等専門学校），辻子裕二
- 2-6 ロックボルト・ロープネット斜面安定工法による急傾斜地への適用性に関する研究
○楠見晴重（関西大学），寺岡克己，安井ゆりか

10:50~12:00 基調講演：「月面基地建設への挑戦～地盤工学が切り拓く宇宙開発～」（総合会場）

小林 泰三（立命館大学理工学部 教授）

13:00~14:20 セッション3：防災・減災対策②，解析・予測推定手法（A会場）

座長：宮崎 祐輔（関西大学）

- 3-1 PLATEAU を活用したデジタルツインの自動作成
○高崎汐織（株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング），牛島崇，大石哲，橘伸也，竹山智英
- 3-2 拘束圧依存性を導入した内部浸食モデルの提案
○武田宙征（神戸大学大学院），田村彩奈，高山裕介
- 3-3 Physics-Informed Neural Networks によるサロゲートモデルを用いた不飽和浸透解析に関する研究
○福永竜世（立命館大学），伊藤真一，酒匂一成
- 3-4 u-p 定式化に基づく二相系陰的 MPM の液状化解析への適用性
○生頼直樹（中電技術コンサルタント株式会社），橋本涼太，肥後陽介
- 3-5 桜島大正噴火級の噴火後の降下火砕物堆積量の分布傾向に関する一考察
○五反田尚大（鹿児島大学大学院），酒匂一成，田上聖人，伊藤真一
- 3-6 データ同化過程における圧密パラメータの確率分布の変化
○小田和広（大阪産業大学），今村留衣

13:00～14:20 セッション4：地下水地盤環境・地下水利用（B会場）

座長：高井 敦史（京都大学大学院）

- 4-1 モニタリングデータからみた大阪平野とその周辺地域における地下水の水質組成の特徴
○伊藤浩子（一般財団法人 GRI 財団），長濱智子，川内嘉起，水谷光太郎，勝見武
- 4-2 Evaluation of fluorine diffusion parameters in compacted clay layer in landfill
○温嘉明（京都大学大学院），加藤智大，高井敦史，勝見武
- 4-3 金属イオンを含む盛土浸出水が下部吸着層の透水性に与える影響
○余栄光（京都大学大学院），緒方里帆，加藤智大，高井敦史，勝見武
- 4-4 地下水採取規制区域における洪積粘土の圧密特性
○前田直也（中央開発株式会社），王寺秀介，原弘典，大谷直人

14:30～15:45 技術交流セッション（総合会場）

（技術紹介&展示、ポスター発表、コーヒーブレイク）

- P-1 液状化地盤における複数隣接建物の不同沈下挙動に関する数値解析的検討
○國澤瑞樹（関西大学大学院），丸岡俊哉，飛田哲男
- P-2 2自由度系でモデル化した盛土の円弧すべり過程の振動エネルギー伝達特性
○山下典彦（大阪産業大学），宮脇幸治郎
- P-3 設置条件の違いが網状鉄筋挿入工の水平耐荷性能に与える影響に関する一考察
○原田紹臣（立命館大学），佐藤登，小西成治，藤本将光
- P-4 Quality control report of bentonite mixed soil using 3σ method for 10 waste final disposal sites, approximately 240,000 m²
○乾徹（大阪大学），水野克己，岩崎好規，原田純，遠藤和人，嘉門雅史
- P-5 携帯型ミニディスクインフィルトロメータの計測データを用いた水分特性曲線に関するパラメータの事後分布推定
○藤本雄大（立命館大学），上西那智，伊藤真一
- P-6 地形情報と深層学習を用いた土砂移動分布抽出の試み～令和6年能登半島地震の事例～
○小倉畑亘（八千代エンジニアリング株式会社）
- P-7 埋め立て開始19年間（2002年～2022年）、旭川市廃棄物最終処分場内 遮水構造の安定性把握を目的した36台の計測装置による検証結果
○水野克己（大阪ベントナイト事業協同組合），乾徹，原田純，大嶺聖，遠藤和人，勝見武，嘉門雅史
- P-8 層状粘土鉱物37点試料を用いた、アンドレアゼンピペット法による3粒径区分とコンシステンシー特性との関係性評価
○地下まゆみ（大阪大谷大学），水野克己，乾徹，大嶺聖，原田純，遠藤和人，岩崎好規，嘉門雅史

15:45～17:20 セッション5：室内・現場試験，現場計測技術（A会場）

座長：岡田 広久（大阪公立大学）

- 5-1 圧縮指数と自然含水比との相関性の再考と宅地の圧密沈下予測方法の提案
大島昭彦，○田村匠大（南海電気鉄道株式会社）
- 5-2 夢洲2区（万博用地）の浚渫粘土層のPBD打設時の油圧に基づく先端貫入抵抗の平面分布
大島昭彦，○辻光平（大阪市高速電気軌道株式会社），白神新一郎，榊原司，大月一真
- 5-3 高分解能で高速サンプリング可能な新型牽引式電気探査装置の開発
○小西千里（応用地質株式会社），木佐貫寛，佐藤喜一郎，Oliver Kuras，Philip Meldrum，Mihai O. Cimpoiasu
- 5-4 コンクリート表面遮水壁型ロックフィルダムの鉛直継目の地震時挙動に関する実験的研究
○藤本哲生（大阪工業大学），大越靖広，佐藤英明，尾崎亮斗，黒田修一，野谷正明，平松大周
- 5-5 破砕が進行した火山砕屑物の強度変形特性に及ぼす影響
出町慎一郎，○西村南美（京都大学大学院），加藤智大，高井敦史，勝見武
- 5-6 増し杭工法における鉄骨造ガイドによる新旧基礎の水平力学挙動に関する遠心模型実験
○松村大輝（摂南大学大学院），田中雅大，寺本俊太郎

15:45～17:20 セッション6：

「データ連携による（スマート）斜面防災 DX：豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会」特別セッション（B会場）

座長：小田 和広（大阪産業大学）

- 6-1 土砂災害に対する避難計画提案のためのマルチエージェントシミュレーションに関する研究
○光同寺太朗（神戸市立工業高等専門学校），野並賢，松本一真，鳥居宣之
- 6-2 データ同化によって同定された雨水浸透モデルによる擬似飽和体積含水率に関する数値シミュレーション
○小田和広（大阪産業大学）
- 6-3 長期観測している花崗岩斜面地における土壌水分特性
○高橋良輔（大日本ダイヤコンサルタント株式会社），岡崎敬祐，鏡原聖史
- 6-4 AIを活用した斜面災害予測モデルの構築と監視技術の開発
中空智輝，○安原英明（京都大学大学院）
- 6-5 ある流域における斜面災害リスク評価のためのモニタリング事例
○笠原拓造（国際航業株式会社），藤本将光，鏡原聖史，大西剛史，金村和生，鳥居宣之
- 6-6 京丹波町における土砂災害の早期警戒・避難啓発のための防災番組による情報発信の分析
○黒田さくら（関西大学大学院），小山倫史，近藤誠司，西村公貴
- 6-7 浅い基礎構造を対象としたトポロジー最適化の計算および実験例
山本瞭太，松岡勇樹，○竹田光希（関西大学），Tanawat Tangjarusritatorn，宮崎祐輔

参加申込み先： https://www.jgskb.jp/list_form/

問い合わせ先：

Kansai Geo-Symposium 2025 運営委員会

〒540-0012 大阪府中央区谷町 1-5-7 ストークビル天満橋 8階 801号室

電話：(06) 6946-0393 FAX：(06) 6946-0383 E-mail：office@jgskb.jp